

研究名

ダプトマイシンの使用実態と安全性の検討

1.研究の対象

2020年3月～2021年2月の期間に、ダプトマイシン（以下、DAP）が投与された患者17例を対象とした。

2.研究期間

2021年4月1日～2022年3月31日

3.研究目的・方法

DAPの副作用としてCK上昇、AST上昇、ALT上昇などが報告されている。そこで、DAP高用量投与による安全性について、 $DAP \leq 6\text{mg/kg/日}$ を投与した患者と比較検討することを目的とする。期間中、DAPを投与した患者を検索し、その対象患者の性別、年齢、体重、血清クレアチニン値、投与量、CK、AST、ALT等を診療録より取得する。CK上昇、AST上昇、ALT上昇はCommon Terminology Criteria for Advance Events Version5.0のGrade1以上で判定した。

4.研究に用いる情報の種類

観察研究

5.情報の使用について

研究結果は学会等で発表を予定していますが、登録された患者の個人情報個人が特定できないよう匿名化し、パスワードをかけて厳重に管理されます。

また、情報が用いられることにご了承いただけない場合は研究対象といたしません。

その場合でも、患者様に不利益が生じることはありません。

6.研究組織

研究機関名：済生会横浜市南部病院

研究責任者：薬剤部 山口莉穂

7. お問い合わせ

本研究にご質問、または臨床研究の参加を希望されない場合は下記連絡先までお問い合わせください。

病院代表：045-832-1111

担当者：薬剤部 山口莉穂